

栃事研会報



第 85 号 平成 27 年 10 月 8 日発行
栃木県公立小中学校事務職員研究協議会
編集発行人 廣田 則子

<主な内容>

- ・ 学校事務のチャンス …… 1
- ・ リーダー研修会 …… 2
- ・ ステージ I 研修 …… 3
- ・ 交流事業 …… 4

栃事研HP <http://tochijiken.org/>



「学校事務のチャンス」

栃事研副会長 益子 周二

会員の皆様には、栃事研の活動にご理解とご支援をいただき、ありがとうございます。心よりお礼申し上げます。

9月の豪雨による災害を受けられた方、学校にはお見舞い申し上げます。一刻も早い原状復帰をご祈念いたします。

さて、文部科学省では「チームとしての学校」について中央教育審議会で検討を進め、7月に中間のまとめが報告されました。「チームとしての学校」とは、学校に多様な専門的人材を配置し、学校の組織力を高めて課題解決を図ろうとするものです。背景には、「授業革新」の推進や学校の複雑化・多様化した課題解決、教員が子供と向き合う時間の確保があります。このチーム学校推進の方策の一つに事務体制の強化があります。具体的には、学校運営事務の統括者としての位置づけ、資質・能力の向上、共同実施の推進などがあげられています。学校事務職員の役割が、これほど取り上げられたことはありません。学校運営上の重要な役割を果たすことへの期待がうかがえます。これから事務職員がどうなっていくのか、不安に思う方もいるでしょう。しかし、この状況はチャンスと考えるべきです。是非、学校運営になくてはならない職員としての立場を確立したいものです。

栃事研では、とちぎ学校事務ビジョンに基づき、組織化、能力開発そして経営参画の三つの課題解決に向けて活動しています。この三つの課題は、上記のチーム学校推進の方策に重なるものです。現在、共同実施の全県実施に向けた推進会議の開催や「研修の体系化」に基づく研修の実施、そして経営参画の具体化や実践に向けて研究を進めています。しかしこれらの課題解決は栃事研だけで実現できるものではありません。地区、支部、共同実施組織の相互連携・相互補完が不可欠です。そして何より重要なのは事務職員一人一人の実践です。会員皆様の心をつなげて、「とちぎの学校事務」創造に向けて実践をお願いいたします。

栃事研の今後の予定

平成27年度 栃木県公立小中学校事務研究大会

期日 平成27年12月4日(金)

会場 栃木県教育会館 大ホール

平成27年度 第13回栃事研セミナー

期日 平成28年1月15日(金)

会場 富屋地区市民センター(予定)

平成27年度 共同実施推進会議

期日 平成28年2月 予定

お知らせ

第12回日本スクールビジネス研究会

シンポジウム in 足利

「地域連携の在り方を考える」

ーチームマネジメントと地域協働ー

日時 平成27年11月21日(土) 9:30~

会場 足利市民プラザ 小ホール

内容 自由研究発表

基調講演

シンポジウム

リーダー研修会



平成27年8月11日(火)、講師に兵庫教育大学教授の日渡円氏をお迎えして、リーダー研修会を開催しました。今年度は、各支部より推薦いただいた29名と、午前中の講義には、栃木県公立小中学校教頭会より21名の教頭先生にもご参加いただき、研修を行いました。

子どもたちの生きる力の育成のため、教育が変化していく中、学校の組織全体の総合力を高めていくには学校のマネジメント力の向上が不可欠です。

今回の研修では、主体的にマネジメントを担う教頭・事務職員の果たすべき役割等について考える機会としました。

午前中の講義では、学校のリーダーである、校長・教頭・事務職員の役割と成果を出すために必要な能力等についてお話を伺いました。

リーダーは、様々な人の思いを踏まえ、現在の教育課題や、自校の課題を分析し目標を設定します。そして全教職員が目標を達成するために、ビジョンを示し、実践する人たちへ成果を伝えつつ学校全体をマネジメントしていくことがリーダーの役割であること。これらの活動に必要な能力や、成功に導くためのプロセス等を丁寧に説明いただきました。受講者の方々は、大きくうなずきながら話を聞いている方や、一生懸命メモを取る方など、熱心に耳を傾けていました。

また、カリキュラムには、意図的・計画的に教員が進めている他に、学校にある隠れたカリキュラム(校舎掲示物・備品・校風・地域・花等からも子どもは学ぶことができる)を教頭・事務職員が見える化し、意図的・計画的にすることでカリキュラムがさらに広がるなど、子どもの学びにアプローチする事務職員の姿についてのお話も伺うこともできました。

午後は、成果に結びつく行動を支える能力の一つである「応用力」を養うポイントをつかむための演習を、「新しい時代に対応するスクールリーダー・マネジメント研修テキスト」を使い行いました。

始めの演習では架空の学校を設定し、「自分がこの学校のリーダー職員なら、この学校は組織として今後何に取り組むべきか」ということをまずは個人で考え、その後グループで話し合いを行いました。この演習では「対課題面の力(『現状をどのように捉え』『どういった課題を設定し』『どのような施策を遂行するか』というリーダーに強く求められる力)」に焦点を当てて学びました。

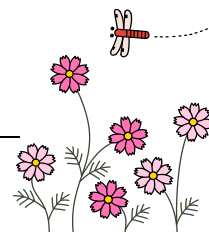


課題解決のためのステップは、「現状」を把握したうえで、「ありたい姿(目的・目標)」を設定し、ありたい姿を達成するための「課題と具体策」を決定します。そこで、「現状」を幅広い観点で把握するために必要となる「情報収集」の力を高めることをねらいに二つ目の演習を行いました。学校の現状を把握するために必要な情報や、情報を収集するための入手方法などをグループで話し合いました。

研修後、教頭先生方からは「事務職員と一緒に研修の必要性を感じた。とても有意義であった。」などのご意見をいただきました。また、事務職員からは、「組織で動くことの必要性と、その組織を引っ張るリーダーの役割を再確認することが出来た。非常に意識が高まるよい機会となった」などの感想をいただきました。

講師の日渡先生からは、マネジメントチーム(校長・教頭・事務職員)がいかに融合するかで学校に効果が表れるといったお話もあり、今回の研修会は、そういった意味からも、リーダー研修を教頭先生と同じ場で受けられたことに、大きな意義がありました。

※研修会のレポートは、[栃事研HP](#)に掲載されていますので、ご覧ください。



ステージⅠ (基本的力量形成期) 研修



「ステージⅠ (基本的力量形成期) 研修 自己マネジメント」を、日光市立東中学校 倉澤 由佳事務長を講師に、6月30日開催しました。採用1～3年目を対象に「研修の体系化」に基づくステージ別研修として、今年度は23名の方が参加しました。

初めの講義では自己マネジメントを行う上で「自分を知ることの大切さ」、そして具体的に「自己マネジメントのポイントとは何か」を学びました。

受講者の方々は、講義中も各自メモを取るなど意欲的に研修に取り組んでいました。研修後の Action シート② (ふりかえり) においても「自己マネについて理解できましたか」という質問に対して100%の方が「はい」との回答があり、受講者の研修に対する前向きな姿勢と、成果をうかがうことができました。

グループワークでは、「実際に今抱えている自らの課題をどう解決していくか」について、活発な意見交換が行われました。受講者の方々からは「自分だけが悩んでいるのではなくて安心した」「毎日一人で仕事をしているので、仕事を分かってもらえる人と話せて良かった」「ストレス解消になった」など、悩みや課題を受講者同士で共有、共感できてよかったとの感想をいただきました。日々の業務に対する不安を分かち合うことができただけでも大変意義のあることであり、「若い事務職員を一人にしない」というメッセージを、研修をとおして伝えることができたのではないかと考えております。

また、今回の研修のねらいの一つに「自分の強みを知る」ということがありました。具体的には、研修導入の自己紹介で、聞いている側が話している人の良かったところを“きらきらカード”に記入し、本人に手渡すという活動を行いました。少し気恥ずかしそうにカードを見つめながらも、皆、笑顔だったのが大変印象的でした。また研修の終盤には、きらきらカードや、高根沢町立中央小学校 青木雅明主任の先輩の話と、グループワークを通して、自分の強みを「内的な強み」と「外的な強み」に分けて考えてもらいました。外的な強みとして、「共同実施(地域学校園)の支援体制」や「近隣事務長や前任者に教えてもらえること」等が多く見られました。これは、各支部で若手に対する指導体制が整ってきている証拠であると同時に、人間関係がきちんと作られていることが分かりました。また、「管理職や先生方の理解があること」等、校内の雰囲気の良いさを挙げる方も目立ちました。一方、内的な強みを挙げることは、なかなか難しい様子でしたが、コミュニケーションが自分の強みだと記入している方が多くいらっしゃいました。

研修の終わりに、実行宣言として、5カ月後に達成できそうな目標、その解決策と具体的な実践内容を受講者全員が記入しました。「余裕のある予算執行」「備品台帳の電子化」「給与旅費審査の不備をなくす」「諸帳簿の整理」「決算書様式の校内統一」「先生方の事務負担軽減」等、直面している課題はそれぞれ違いますが、小さいことから、一つ一つ目標を立て解決していくことで、自らを「目指す事務職員像」に少しずつ近づけていただきたいと思います！



※研修のレポートは、[栃事研HP](#)に掲載されていますので、ご覧ください。

●●●平成27年度●●●栃木県公立小中学校事務研究大会

大会テーマ 「創造しよう！子どもの豊かな育ちを支援する学校事務を」

サブテーマ ●協働から広がる子どもの学び…● 思いを形に！●●●●●

平成27年12月4日（金） 栃木県教育会館 大ホール

- 地区発表 那須地区 「温故知新 そして学校事務の未来につなぐ」
—那須の絆、フロンティアスピリット、人材育成支援—
- 全体研究会Ⅰ 「子どもの豊かな育ちを支援する学校事務の実現に向けて」
—過去・現在そして未来へつなぐ中期研究計画—
栃木県公立小中学校事務職員研究協議会 会長 廣田 則子
- 全体研究会Ⅱ 「学校経営参画における大切な視点」
—アクティブラーニングを通して新たな気づきの発見—
講師 前橋工科大学 学生部長兼キャリアセンター長 教授 小林 清 氏

今大会では、私たち事務職員が、教育内容やカリキュラムについての理解を深め、専門性を活かしつつ学びの充実に積極的に参画する事務職員の在り方、チームや組織で仕事をしていく協働の大切さと、そこから広がる子どもの学びについて皆様と共に考えていきたいと思っておりますので、多くの方の参加をお待ちしております。

第4回栃事研交流事業球技大会

8月18日（火）下野市立祇園小学校にて、第4回栃事研交流事業球技（ソフトバレーボール）大会が開催され、各支部から約70人の方に御参加いただきました。今年は地区・支部毎のチームと地区・支部混合のチームがあり、和気あいあいとした雰囲気の中で行われました。参加者からは、「充実した時間を過ごせて良かった」「普段運動をする機会がないので、たまに身体を動かすのもリフレッシュになって楽しい」「来年も開催してほしい」という声をいただきました。



※大会のレポートは、栃事研HPに掲載されています。



ただいま広報部では、会員の活用できる事務処理プログラムなどのデータを募集しています。一つのプログラムが多くの会員を支援することになりますので、皆様のご協力をお願いします。ご提供いただける場合は、hp@tochijiken.org まで送信してください。ご不明な点は、広報部長（埼玉小学校 高野）までお問い合わせください。